

気象データアナリスト

活用のススメ



Q. 気象データアナリストって？

A.

気象データアナリスト（登録商標第6450756号）とは、企業におけるビジネス創出や課題解決ができるよう、気象データの知識とデータ分析の知識を兼ね備え、気象データとビジネスデータを分析できる人材のことです。例えばこのような場面で、気象データアナリストの活躍が期待されます。



過去の販売・顧客データ



気象データ

発注数の精度向上により
廃棄ロスの減少や底値で
仕入れるなど利益アップ



売上データやSNS



気象データ

店舗混雑予想情報や
割引サービスを
顧客へ提供



過去の出荷/入荷実績等



気象データ

荷物量・
作業量を予測、
要員計画を最適化



気象データアナリストの知識・技術を活かし、
より効率的な経営に！

Q. 気象データアナリストを育成するには？

A.

気象データアナリスト育成講座があります。

気象庁では、気象データの分析のために修得すべき知識・技術（スキルセット）を育成講座の標準的なカリキュラムとして示し、適合する民間の教育訓練事業者が実施する講座を「気象データアナリスト育成講座」として認定しています。

認定された講座は、気象庁ウェブサイトでご覧いただけますので、ぜひこれらの講座をご活用ください。



認定された
講座はこちら



お問合せ先

気象庁 情報基盤部情報利用推進課 気象ビジネス支援企画室
〒105-8431 東京都港区虎ノ門3-6-9 メール: jma_suishin@met.kishou.go.jp

気象庁
Japan Meteorological Agency